

## トピックス

### 北条時頼記を

### 15年ぶり上演

10日、早大で

文楽の豊竹英大夫（三味線・鶴澤清友）が浄瑠璃「北条時頼じらい記い」女鉢の木雪の段」を十五年ぶりに復曲上演する。

秘蔵の盆栽を燃やし、旅の僧（時頼＝最明寺殿）をもてなした武士の物語は謡曲「鉢木」で知られる。主人公を武士の妻としたのが、近松門左衛門作「最明寺殿百人上臈じよつろう」の下巻「女鉢の木」。一七二六年に初演された「北条時頼記」は、五段目にこれを用い、豊竹上

野少掾（初代若大夫）の語りによって大当たりを取った。だが一八七七年に文楽での上演は途絶え、豊竹呂大夫が一九八四年に復曲した。その衣鉢を継ぎ、十代目若大夫の孫の英大夫が挑む。公演は十日午後二時から早稲田大学小野記念講堂。無料。